

滋賀県オリジナルイチゴ品種候補系統「滋賀 SB 2 号」の育成			
【要約】 高糖度および高硬度を有し、食味に優れる「滋賀 SB 2 号」を育成した。本系統は、良食味なうえ、「章姫」よりも果実硬度が高く、同等の可販収量が得られることから、本県初のオリジナルイチゴ品種として有望である。			
農業技術振興センター・栽培研究部・野菜係		【実施期間】	平成 28 年度～令和元年度
【部会】 農産	【分野】 戦略的な生産振興	【予算区分】	県単
		【成果分類】	研究

【背景・ねらい】

近年他県でも盛んにイチゴの品種育成が行われているが、育成県外での栽培が認められない品種が増えている。本県のイチゴ生産における主要品種「章姫」は、滋賀県の栽培方式（少量土壌培地耕、無加温、無電照）で収量性に優れるが、春先の糖度や果実硬度が低いことが問題となっている。また、「章姫」は県外でも多く栽培されているため、滋賀県の特産品としての訴求力に乏しい。

そこで、「章姫」よりも品質が高く、滋賀県の栽培方式に適合する「滋賀 SB 2 号」を選抜し、現地適応性や栽培特性を評価する。

【成果の内容・特徴】

- ① 滋賀県オリジナル品種候補系統「滋賀 SB 2 号」は、平成 28 年度に「かおり野」を母、「章姫」を父として人工交配を行い、1,628 個体から選抜した系統である（図 1）。
- ② 「滋賀 SB 2 号」の果皮色および果肉色は橙赤色であり、「章姫」と異なる（表 1、図 2）。
- ③ 「滋賀 SB 2 号」の出蕾日、収穫開始日は「章姫」より早い（表 2）。
- ④ 「滋賀 SB 2 号」の 1 果実重は「章姫」とおおむね同等であるものの、4 月末までの可販収量は「章姫」と同等以上であり、可販果率は「章姫」より高い（表 1、表 3）。
- ⑤ 現地での栽培においても、「滋賀 SB 2 号」は 4 月末までに滋賀県経営ハンドブックの収量目標である 3.5t/10a を達成できる（表 3）。
- ⑥ 「滋賀 SB 2 号」の糖度（Brix 値）、酸度および果実硬度は、「章姫」より高い（表 3）。
- ⑦ 「滋賀 SB 2 号」の糖酸比は良食味といわれる 16～17 程度である（表 3）。

【成果の活用面・留意点】

- ① ポット育苗した苗を令和元年 9 月に定植し、全花房を 8 花に摘花して得た結果である。
- ② 農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）では、液肥に OK-F-1 を使用し、「章姫」より給液 EC を高める「かおり野」に適した養液管理で、現地では各栽培地慣行の養液管理で栽培した結果である。
- ③ 今後は「滋賀 SB 2 号」の安定生産のために栽培管理試験を実施し、マニュアルの作成を行う。また、令和 3 年度に「滋賀 SB 2 号」の品種登録を出願予定である。

[具体的データ]



図1 「滋賀SB2号」の系譜図

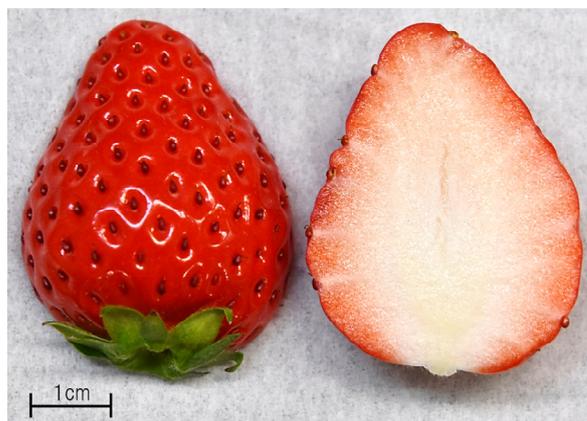


図2 「滋賀SB2号」の果実

表1 特性概要 (2018~2019年度 農技セ)

	滋賀SB2号	章姫
草姿	立性	立性
花卉色	白	白
1果実重(g)	19.5	20.7
果実の形	円錐	円錐
果皮色	橙赤	赤
果肉色	橙赤	淡赤
季性	一季成り	一季成り

*頂果房第2果・第3果で調査

表2 50%出蕾日および収穫開始日 (2019年度 農技セ)

栽培地	系統・品種	50%出蕾日			収穫開始日
		頂花房	1次腋花房	2次腋花房	
農技セ	ハウスA 滋賀SB2号	10/21	12/16	1/29	11/8
	章姫	10/28	12/20	2/14	11/19
	ハウスB 滋賀SB2号	10/17	12/10	1/29	11/8
	章姫	10/21	12/20	1/29	11/19
現地	長浜市 滋賀SB2号	10/21	12/10	2/25	11/15
	守山市 滋賀SB2号	10/18	12/16	1/27	11/15

ハウスA:7.4m×18mの鉄骨フィルムハウス、ハウスB:6m×17.5mのパイプハウス

表3 可販収量および果実品質特性 (調査期間平均) (2019年度)

栽培地	系統・品種	可販収量 (kg/10a)	可販果率 (%)	糖度*1 (%)	酸度*2 (%)	糖酸比*2	硬度*3
農技セ	ハウスA 滋賀SB2号	3696 b*4	77.7	14.2 a	0.62 a	17.1	0.67 a
	章姫	2939 c	73.6	12.7 b	0.47 b	20.8	0.64 b
	ハウスB 滋賀SB2号	5094 a	89.1	12.2 a	0.63 a	16.7	0.64 b
	章姫	4760 a	81.3	11.0 b	0.48 b	19.9	0.60 c
現地	長浜市 滋賀SB2号	3564	87.5	12.9	-	-	0.52
	守山市 滋賀SB2号	3709	93.0	11.6	-	-	0.50

ハウスA:7.4m×18mの鉄骨フィルムハウス、ハウスB:6m×17.5mのパイプハウス、調査期間:収穫開始~4月末

栽植密度:6950株/10a(農業技術振興センター、守山市)、6400株/10a(長浜市)、-:未調査

*1非破壊糖度計で測定、*2破壊糖酸度計で測定、*3単位:kg/5mmプランジャー

*4Tukeyの多重比較検定により、異符号間に5%水準で有意差あり

[その他]

・研究課題名

大課題名: 戦略的な農畜水産物の生産振興に関する研究

中課題名: 野菜等園芸作物や近江の茶の生産振興

小課題名: イチゴの新品種育成と栽培技術の確立

・研究担当者名: 軸屋恵 (H29~R1)、芦田安代 (H28~H29)、野口英明 (H28)、那須大城 (R1)、北澤健 (R1)

・その他特記事項: 技術的要請課題 湖北農業農村振興事務所 (H27)、甲賀農業農村振興事務所 (H30)。令和2年度滋賀県園芸振興大会 (野菜部門) において発表する。本成果の一部を品種登録の申請時に書類へ記載する。